

# 号外 日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2020年9月号第325号

9月の予定

13日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

17日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ

18日(金) 国際交流推進協会理事会/飯田市

18日(金) 満蒙開拓平和記念館運営委員会/記念館

27日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

## 満蒙開拓平和記念館

### 「鎮魂の夕べ2020」が開催されました

毎年8月に満蒙開拓平和記念館において開催してきた「鎮魂の夕べ」ですが、今年はコロナ禍での開催となり、3密を避ける観点から、慰霊祭は関係者のみの参列で行われました。また全国の皆さんへはオンラインで「鎮魂の夕べ2020」ライブ配信が行われました。



慰霊祭には、記念館役員と元開拓団代表と、松川高校ボランティア部の代表者が参列し、旧満州の地に向かい黙とうを行いました。慰霊碑に高校生から千羽鶴がささげられました。なお、午後4時からのライブ配信は、初めての試みでしたが、体験談・メッセージ紹介や語り部久保田諫さん講話、リレートークが行われ、全国(中には海外の方も)からの大勢(約350名)の方々に参加し、新しい繋がりができました。

### 長野県日中友好協会からのお知らせ

日中友好協会創立70周年記念講演会中止!!

10月1日に開催を予定されていた記念講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止されることになりました。

### ★帰国者共同墓地の清掃作業へのお願い



中国帰国者共同墓地は平成10年に飯田日中友好協会が設置し、以後墓地利用者と飯伊帰国者連絡会が日常の管理を行っています。

お彼岸に合わせて、下記のとおり墓地の清掃とお参りを行います。ぜひ大勢の会員の皆様のご参加をお願いします。(清掃後、墓参も行います。)

\*日時 9月19日(土) 午前8時~1時間程度

\*場所 飯田霊地公園内 中国帰国者共同墓地

\*持ち物 軍手、鎌など

\*作業内容 墓地内草とり、除草剤散布、墓碑の拭き掃除など。

(問合せ先 飯田日中事務局 池田 090-4094-2084)

### 先月8月の活動日誌

4日(火) 飯田日中友好協会理事会/喬木村

9日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

10日(月・祝) 鎮魂の夕べ/満蒙開拓平和記念館

20日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ

23日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

「新型コロナ感染防止」が叫ばれる中、県日中をはじめ飯田日中協の事業などが軒並み中止に追い込まれています。こうした閉塞感打開策のひとつとして、飯田日中協では、記念館の協力も得て東京の「平和祈念展示資料館(総務省委託)」の下記イベントに参加することとしました。具体的には、この東京の「平和祈念展示資料館」での《戦後75年企画~秋のオンライン演劇公演》をみんなで「YouTubeで見よう」という企画です。○オンライン環境にある方は、パソコンで又、○お持ちでない方は、10月24日に付いては満蒙記念館のセミナールームで見られます。

《演劇公演プログラムの詳細は下記の通りです》

- 10月10日(土) 14:00~(約45分) **亡き父の証言を朗読「戦争に奪われた青春~少年兵のシベリア抑留体験」**
    - ・平和祈念展示資料館の語り部として活動された猪熊得郎さんの息子で俳優の猪熊恒和が、今は亡き父の体験をギターとバンジョーの生演奏とともに朗読で伝えます。
  - 10月17日(土) 14:00~(約45分) **リーディング公演「和良村分村開拓団・苦洪の道」**
    - ・開拓団として家族で満州へ渡り、終戦後、過酷な引揚体験をした親子。当時7歳の田澄子さんの手記を、新国立劇場演劇研修所の宮田慶子所長による構成・演出で、同研修所を修了した俳優がリーディング形式で上演します。
  - 10月24日(土) 14:00~(約45分) **朗読劇公演「生徒との約束をつらぬいて」/24日は満蒙記念館で観れる。**
    - ・長野県飯田下伊那郡(東横林南信濃郷(根羽村)開拓団ともに満州へ渡った教員による、満州での生活と終戦後の悲惨な引揚体験の証言を、劇団俳優座の女優が朗読します。
  - 10月31日(土) 14:00~(約45分) **一人芝居「フィリピンから孤児となった初恵を連れて」**
    - ・終戦間際のフィリピンで、投降してアメリカ軍の捕虜となり、収容所で孤児たちの世話をしていた女性、逆境の中、孤児となった少女を連れて故郷へ引き揚げる姿を力強く演じます。
- \* 10月24日(土)は、祈念館のセミナールームでも見られます。パソコンで見られる方は、東京の平和祈念展示資料館のホームページのトップ画面から、視聴専用ページ(YouTube)へアクセスしてください。
- ・お問い合わせ、ご不明な点は、080-4440-2937 小林までお問い合わせください。





「新型コロナ感染防止」が叫ばれる中、県日中をはじめ飯田日中協の事業などが軒並み中止に追い込まれています。こうした閉塞感打開策のひとつとして、飯田日中協では、記念館のご協力を得て東京の「平和祈念展示資料館（総務省委託）」の下記イベントに挙って参加することとしました。

具体的には、上記「平和祈念資料館」の《戦後75年企画～秋のオンライン演劇公演》を「YouTubeで見よう」という企画です。

○ オンライン環境にある方は、パソコンで、○ ない方は、満蒙祈念館のセミナールームで見ましょう！！と、企画しました。《演劇公演プログラムの詳細は下記の通りです》

● 10月10日（土）14：00～（約45分）**亡き父の証言を朗読「戦争に奪われた青春～少年兵のシベリア抑留体験」**

・平和祈念展示資料館の語り部として活動された猪熊得郎さんの息子で俳優の猪熊恒和が、今は亡き父の体験をギターとバンジョーの生演奏とともに朗読で伝えます。

● 10月17日（土）、14:00～（約45分）**リーディング公演「和良村分村開拓団・苦渋の道」**

・開拓団として家族で満州へ渡り、終戦後、過酷な引揚体験をした親子。当時7歳の田澄子さんの手記を、新国立劇場演劇研修所の宮田慶子所長による構成・演出で、同研修所を修了した俳優がリーディング形式で上演します。

● 10月24日（土）、14:00～（約45分）**朗読公演「生徒との約束をつらぬいて」**

・長野県飯田下伊那郡の開拓団とともに満州へ渡った教員による、満州での生活と終戦後の悲惨な引揚体験の証言を、劇団俳優座の女優が朗読します。

● 10月31日（土）、14:00～（45分）**一人芝居「フィリピンから孤児となった初恵を連れて」**

・終戦間際のフィリピンで、投降してアメリカ軍の捕虜となり、収容所で孤児たちの世話をしていた女性、逆境の中、孤児となった少女を連れて故郷へ引き揚げる姿を力強く演じます。

\* 10月24日（土）は、祈念館のセミナールームで見れます。

\* 平和祈念展示資料館のホームページのトップ画面から

視聴用専用ページ(YouTube)へアクセスしてください。